





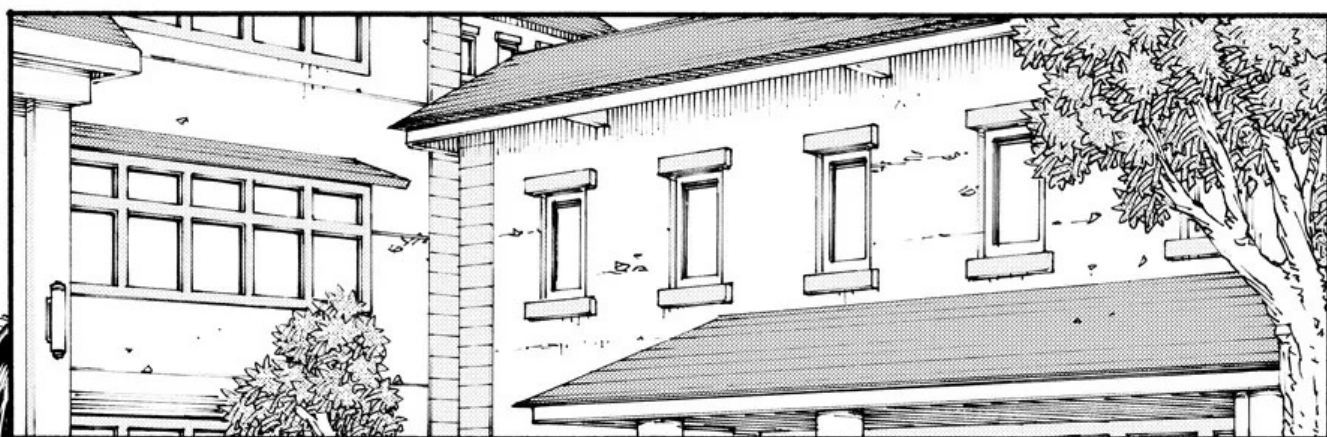




その後は
よく憶えて
いない

2人から
逃げるように
ホテルを
去った後…

一晩中
あおやぎ
青柳のビデオで
オナニーした



休み時間まで
勉強なんて
感心感心♪

イヤ…
宿題やって
ねえから…
……





まるで条件反射だ…





オガツ!!

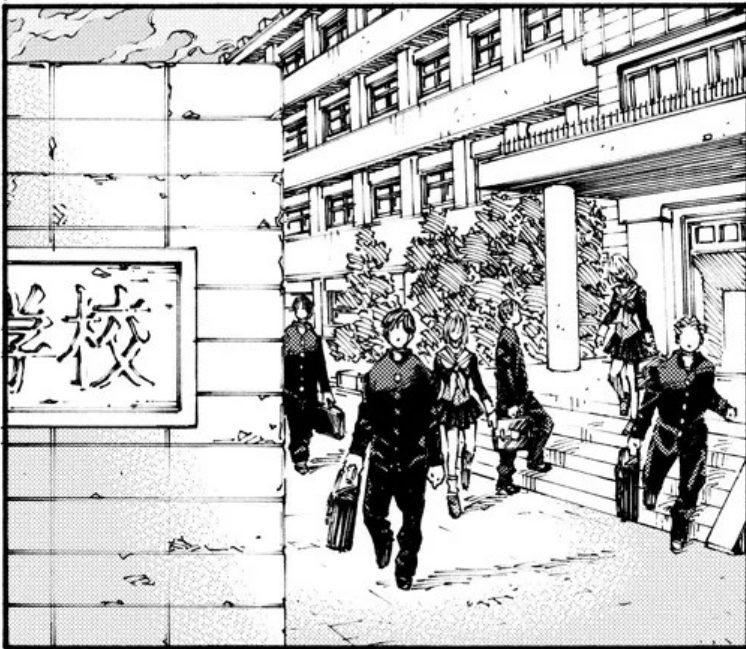
宿題って
なんだ!?!
野崎
イイ



オイ
おきひこ
沖彦
っ
!!

オメー
ちゃんと
宿題
やったん
か!?

当てられっぞー!

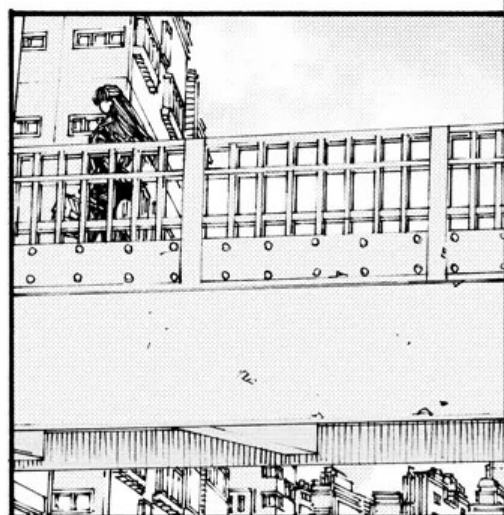
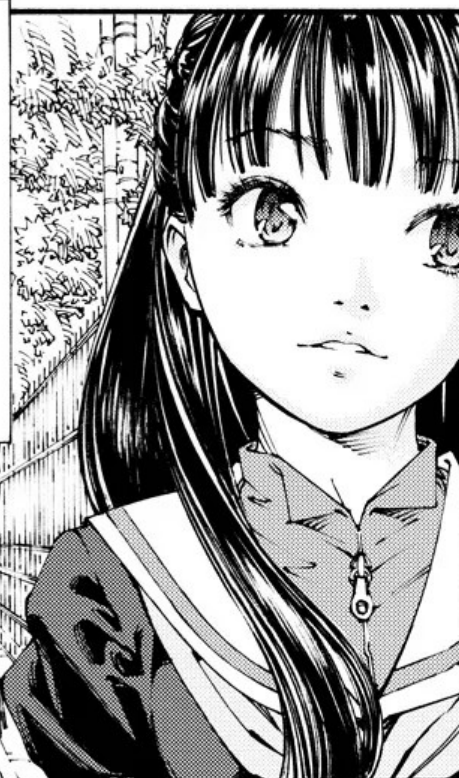


なんでコイツなんだ?

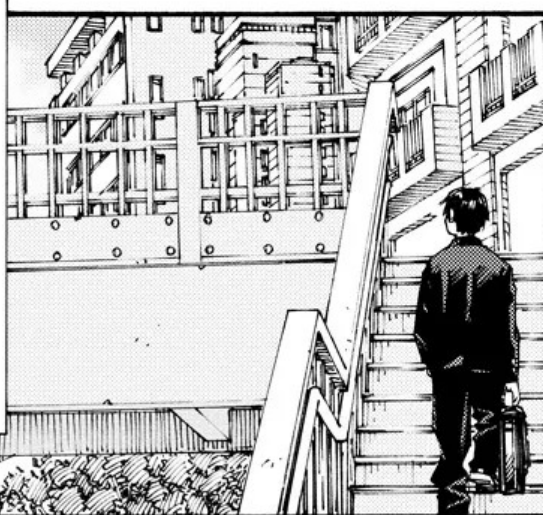




こんな事して
なんになる



尾け回して
なんになる



なんで沖彦なんだ



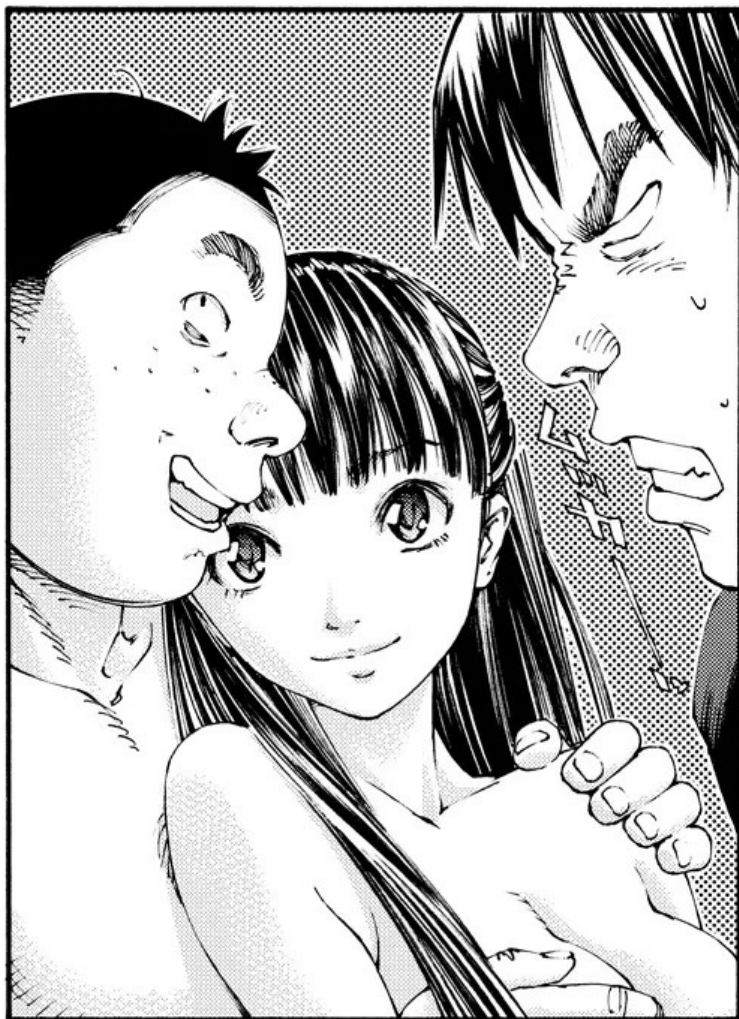
アイツ
沖彦とは
違う

だがオレは
限りなく
Bに近いCだ

オレも沖彦も
クラスじゃ
最下級
グループの
レベルC

なんでオレじゃねーんだ





ヤメロ…

人人家だ



犯罪だぞ

よせつて…





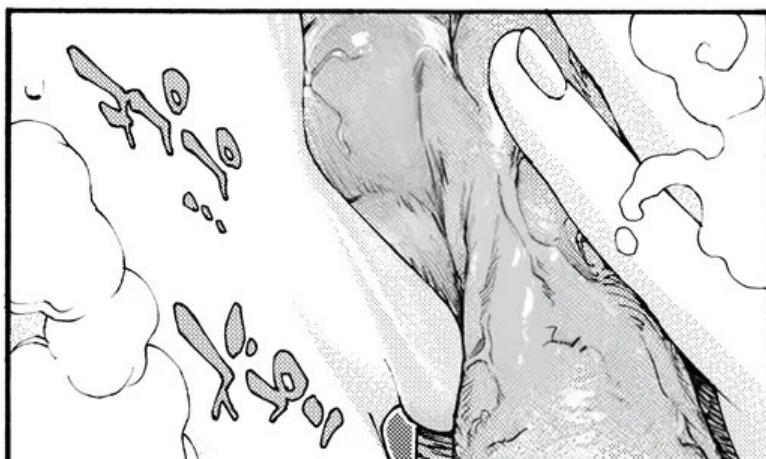
リビングで待ってて
すぐ行くから♪

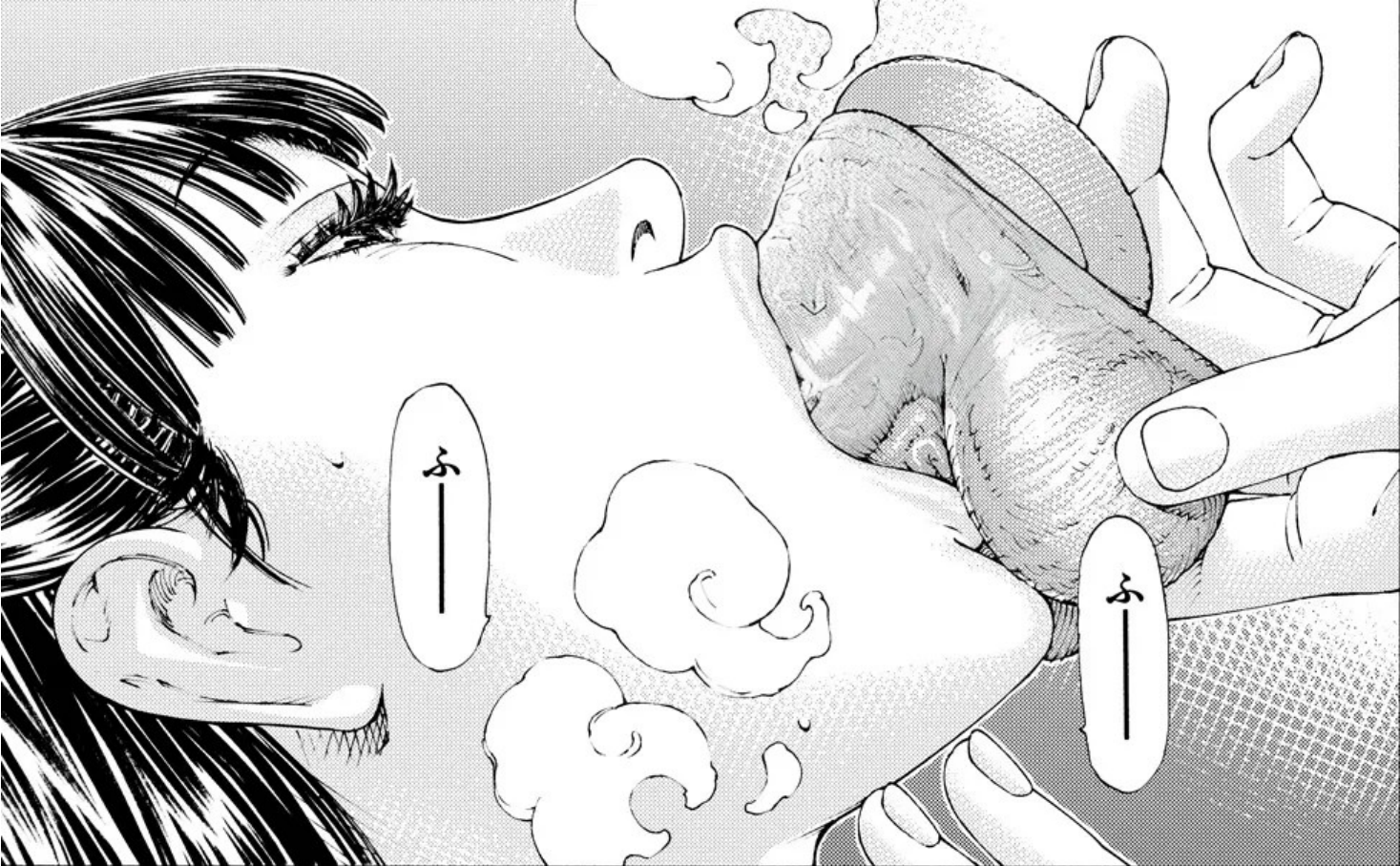
ジャン

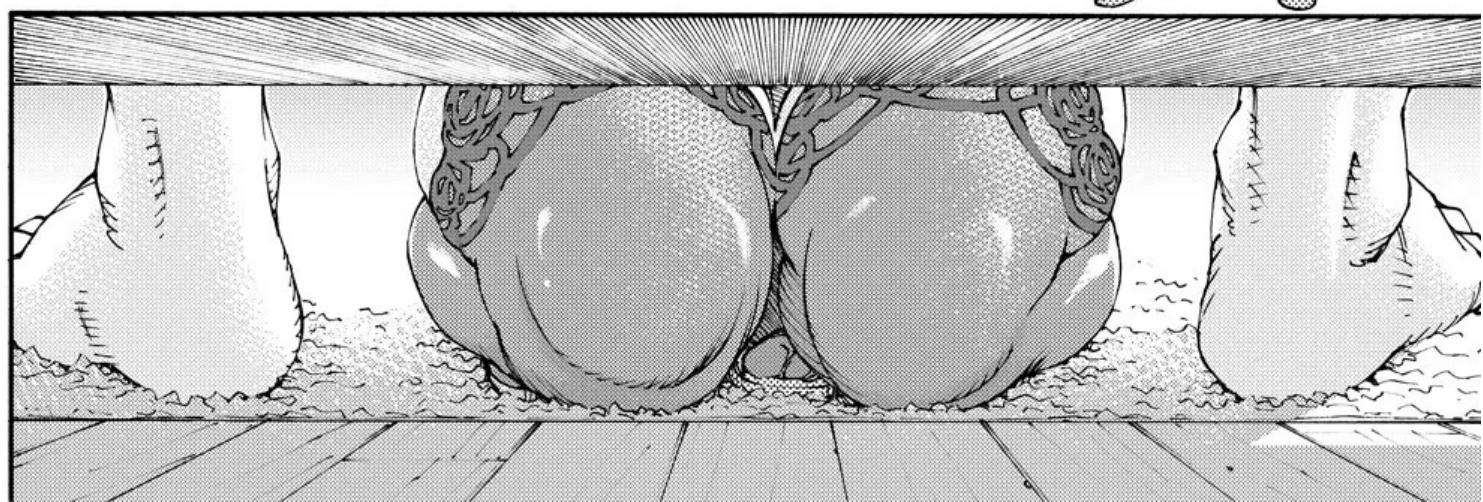
エロナース
見参☆

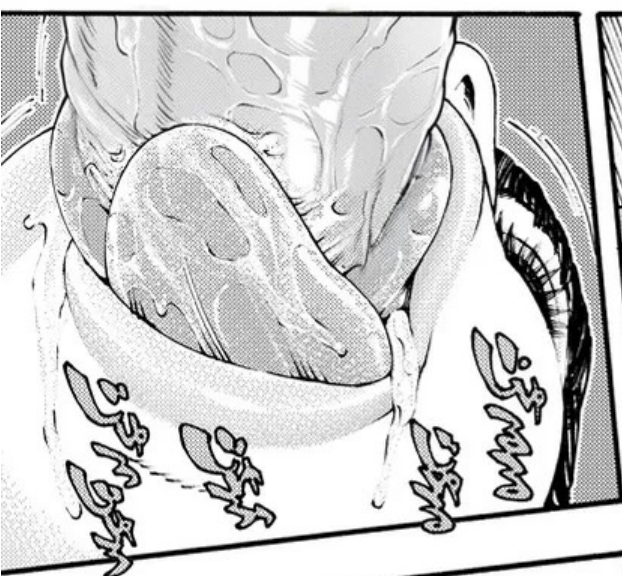
診察
しちやうゾ♡

...

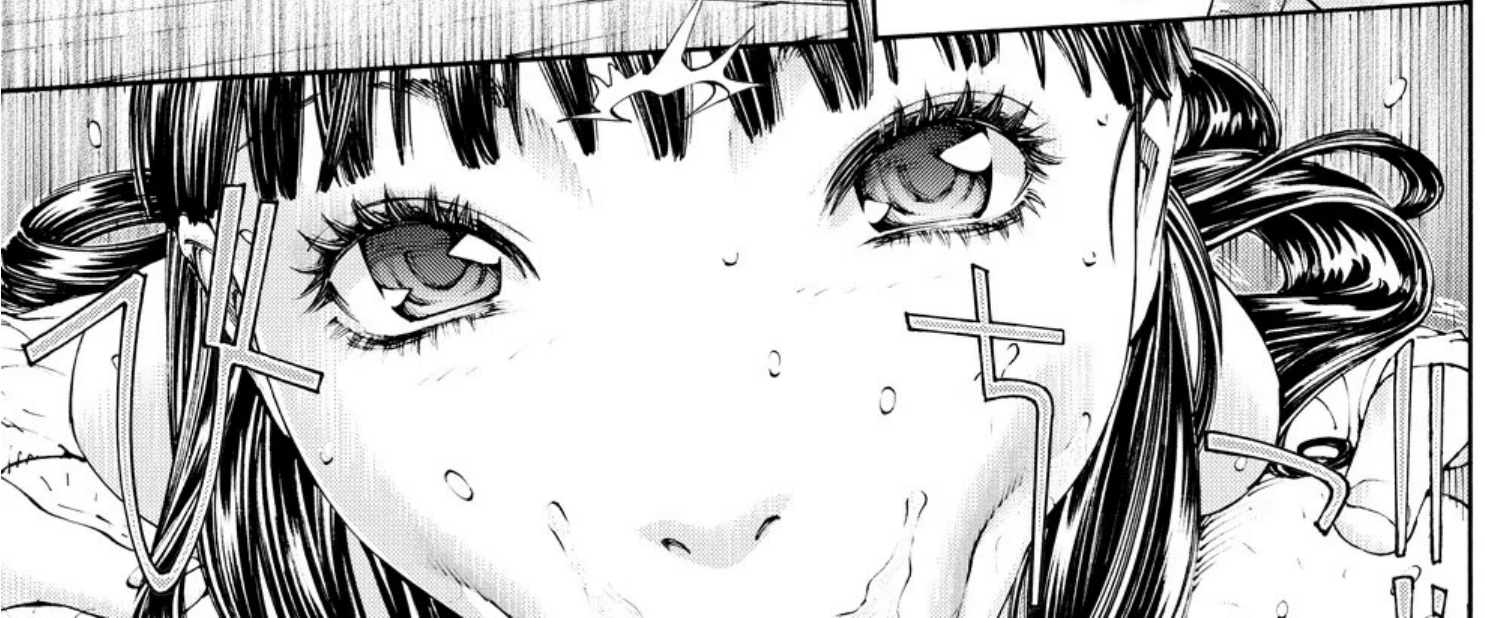
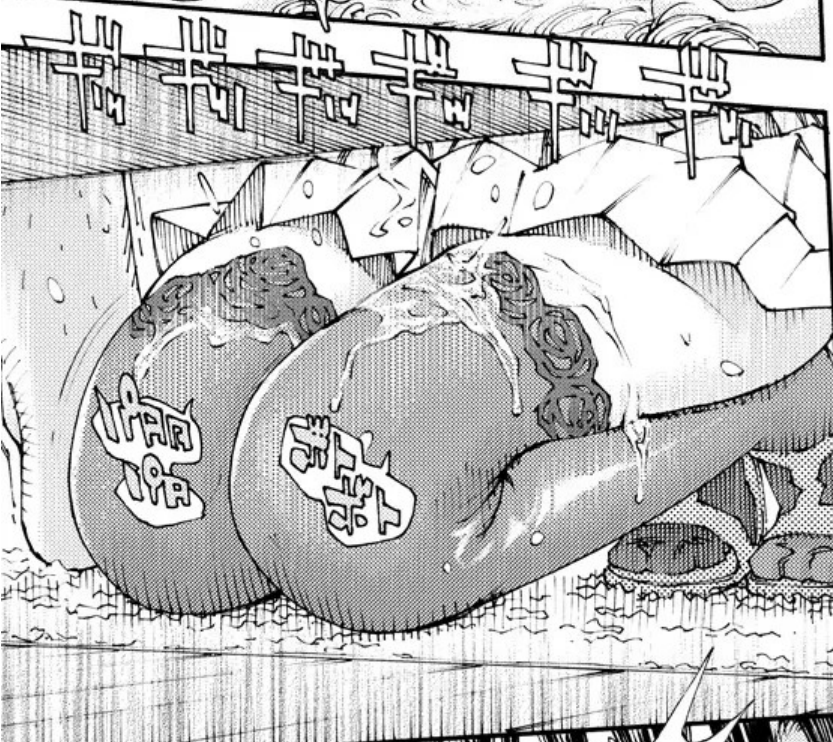
















きつと野崎君は
見てる方が
好きなタイプ
なんだね

一度も「したい」って
云ってこないし

……



しまった…

そうだったのか…



オガアツ

オガ
オガ

アハッ

ありがと——

沖彦君はすぐに
「Hしたいっ!」って
云ってきたもんねー♪

しまった…



実物より
映像とか2次元の方が
興奮する人もいるとか



それとも単に
私に魅力が無い
とか…!?





あ…やバ…
おしっこ
出る…

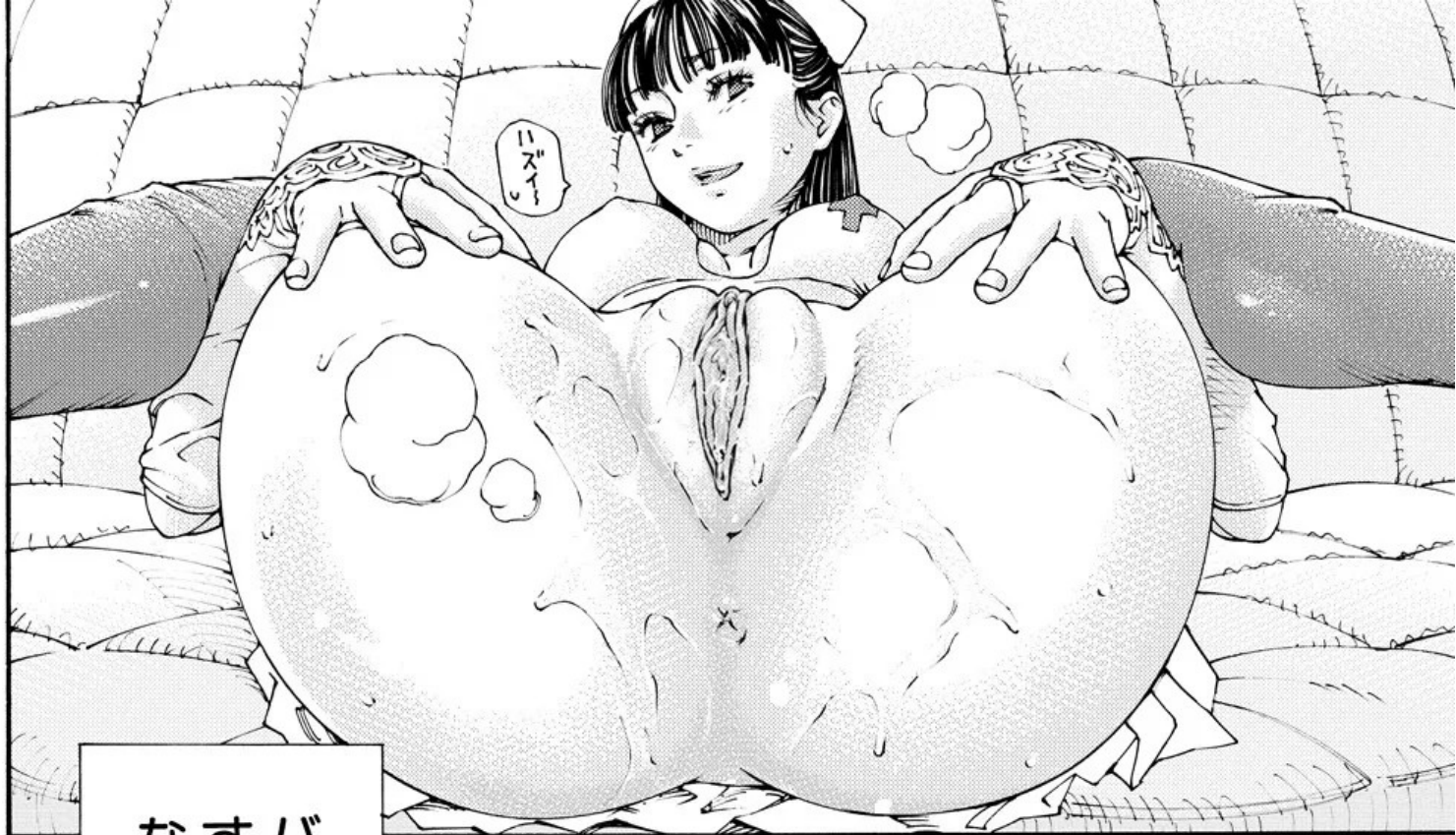


あ…っ!!

こんな
所で…

やっちゃったあ

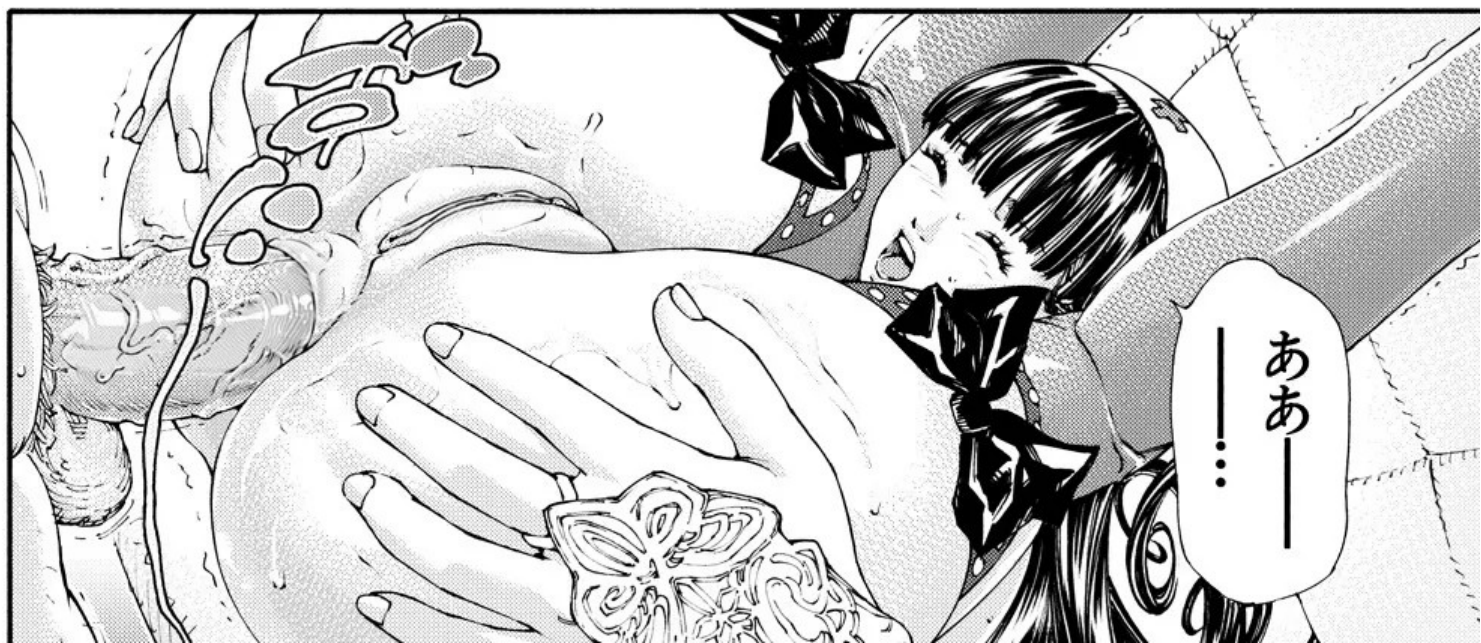
あっ
アーン



バカな事を
する必要は
なかった



ローション
塗って…
ゆっくりね…





ハ：ウン
大丈夫：
慣れてきた

パンパン
して…



沖彦に
嫉妬する
必要も
なかった



ウン…

ウン…



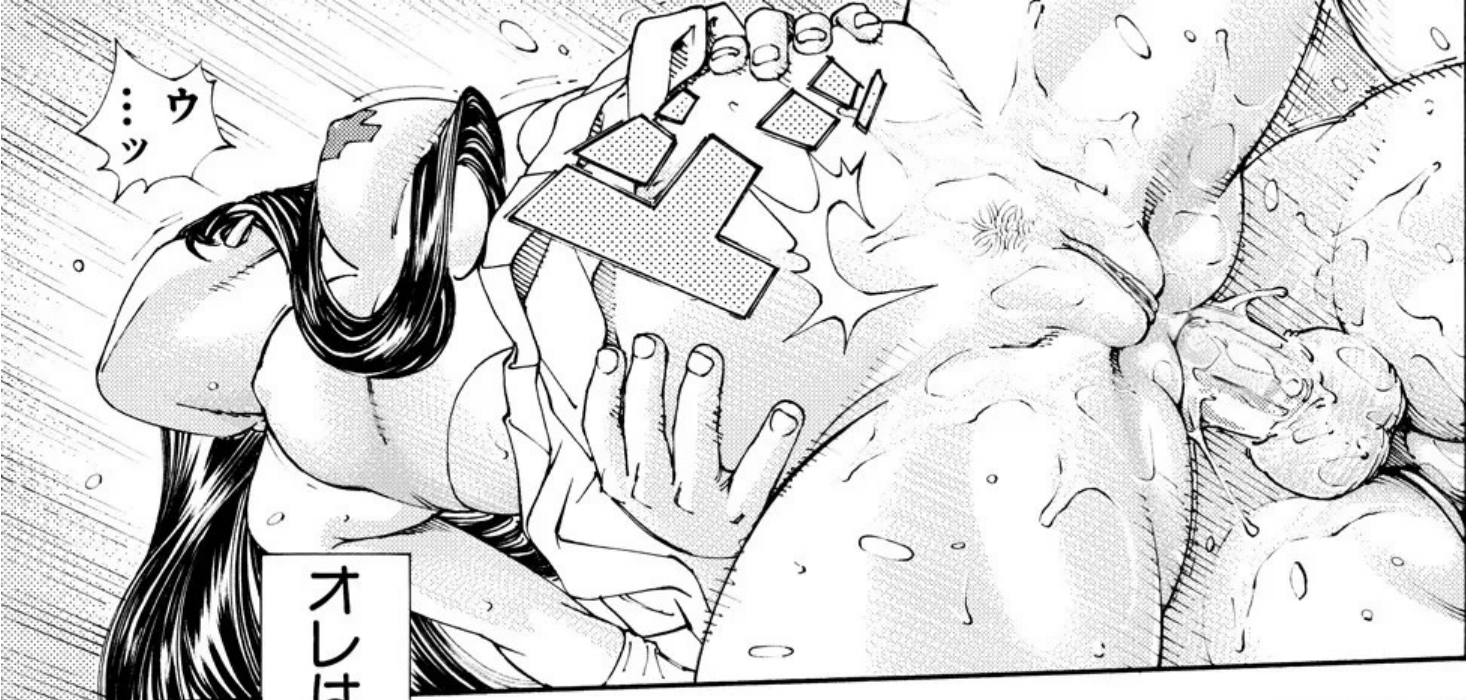
アン

ハン

ハッ

アッ





オレはただ



アアッ!!

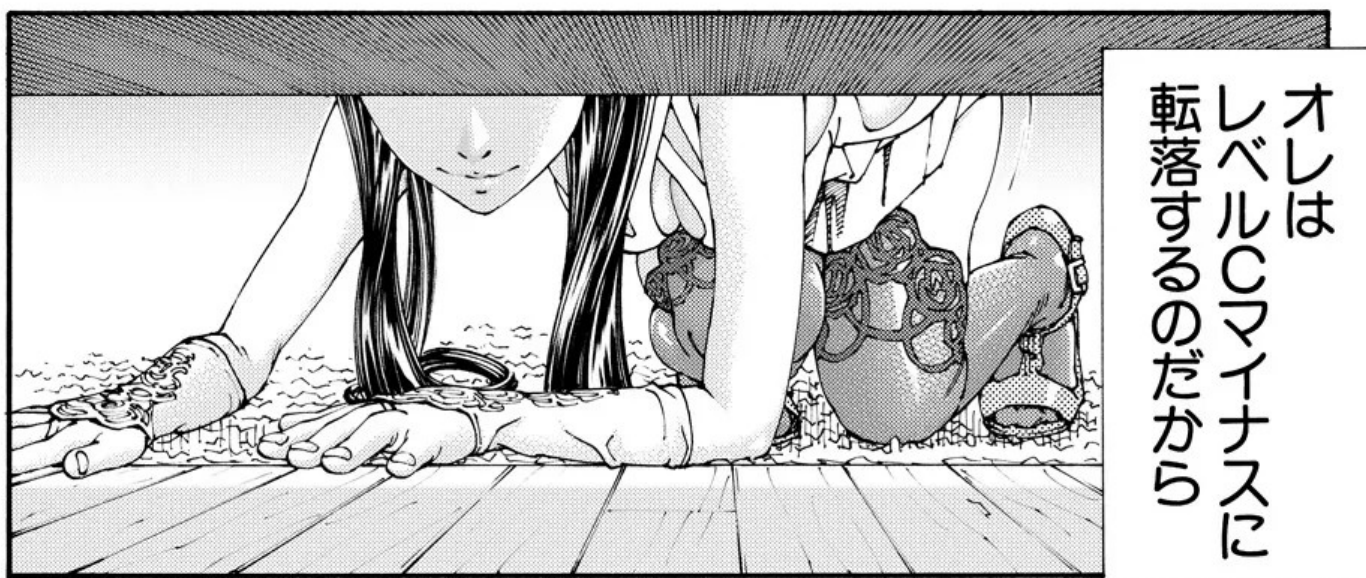
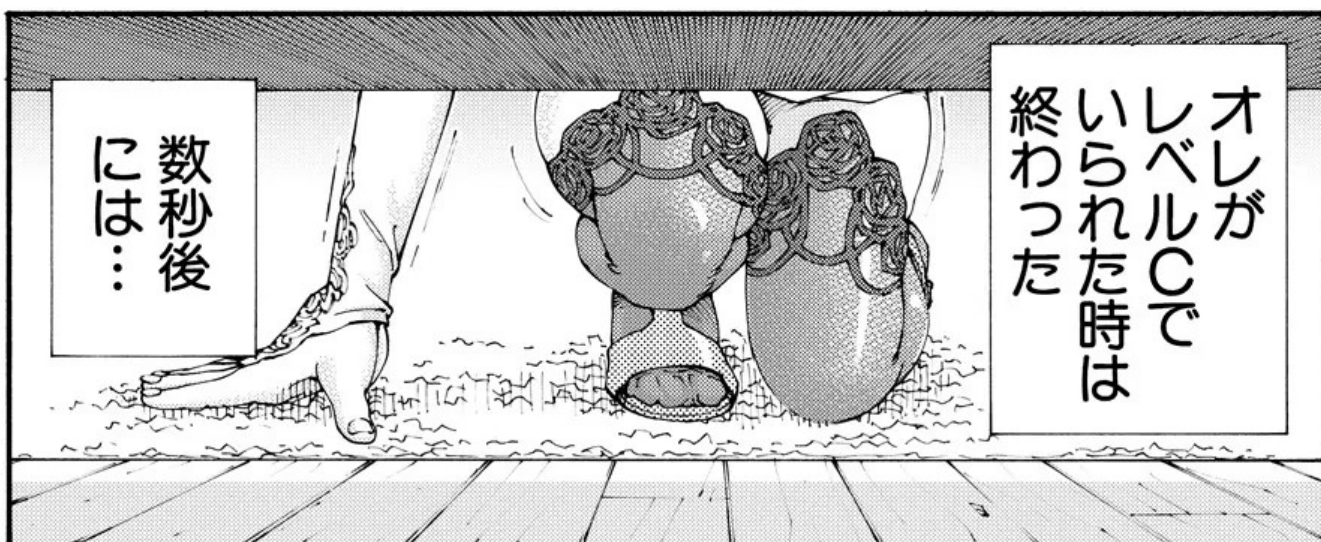
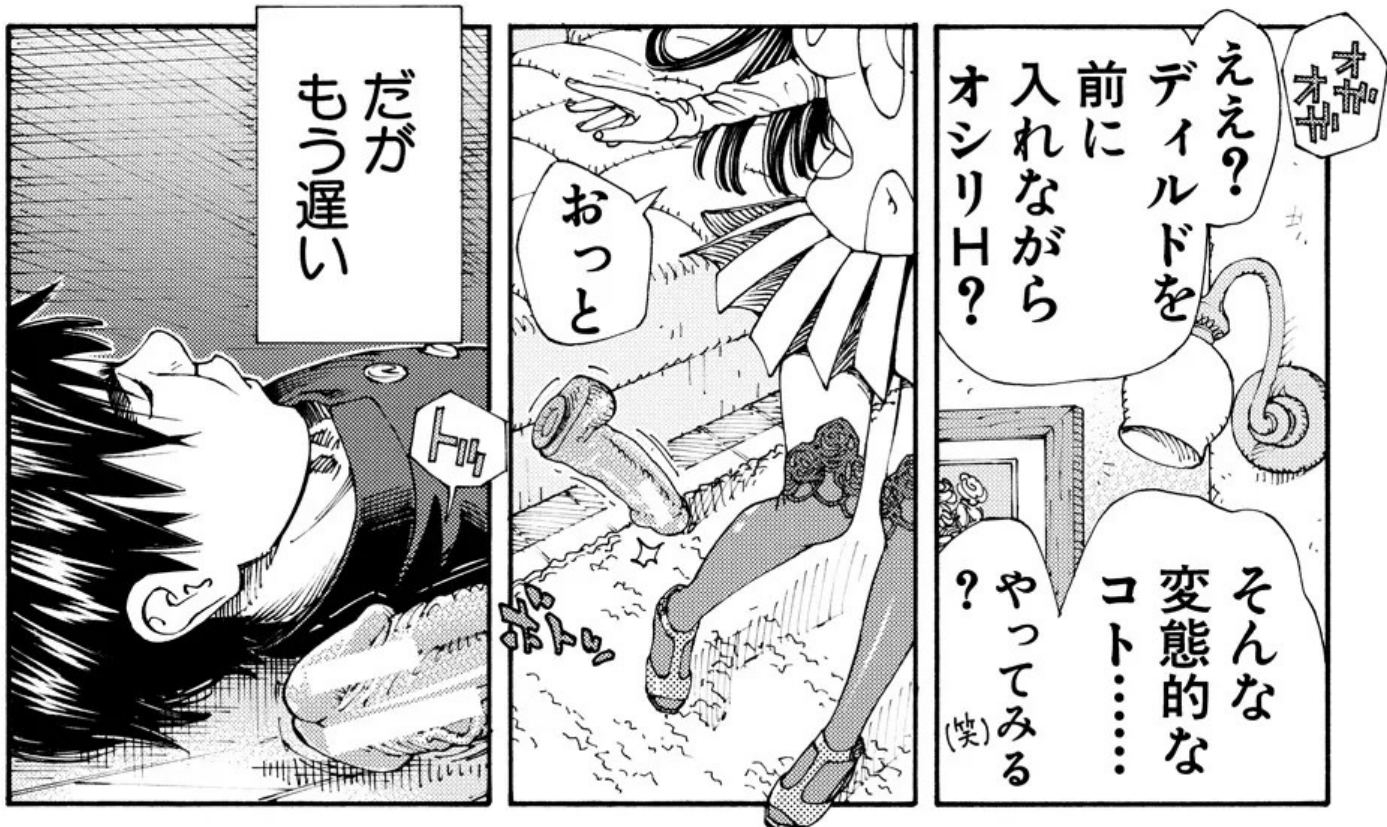


この
抑え切れない
欲望を

青柳に
伝えるだけで
よかった

あ...でも
ちよつと

オシリ
いいかも...



◆END◆